※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	実習Ｂ（ME）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習全体への到達目標について、自分で考えることを重視するとともに、使用する各種機器の利用においての安全管理に重点を置いた実習指導を行なう。また、機械・電気で使う図面の知識を学習し理解を深める。

2　学習の到達目標

・実習で使用する道具の名称や使用法や材料についての知識を理解する。実習に必要な技術を身につける。
・機械加工や電気技術について作業計画をたてて進める力を身につける。また課題製作の問題点や改善する方法について考えることができる。ものづくりを通じて自らの考えを表現し説明することができる。
・他者と協力して作業し、技術者として必要な資質を体験的に理解し、主体的に学習し、課題の完成に向けて粘り強く取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機械・電気の実習に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、ものづくりを合理的に計画し、その知識と技術を適切に活用できる。	機械・電気の実習に関する課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する力を身に付ける。	機械・電気の実習に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎CAD実習（A）	・2 次元 CAD の使い方を学習し、図面を作図する。	a:各作業に使用する機能を正しく理解し作図することができる。 b:作業内容の効率化を図るとともに正確に基礎作業ができる。 c:毎回の「振り返り」を通し、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート
	電気計測実習（B）	・ダイオードの静特性の基礎を学習し、それに関する実習を実施する。 ・トランジスタの静特性の基礎を学習し、それに関する実習を実施する。 ・FET の静特性の基礎を学習し、それに関する実習を実施する。	a: 各作業に使用する工具を正しく安全に使い、電気的な作業の基礎が理解できる。 b:作業内容の効率化を図るとともに正確に基礎作業ができる。 c:毎回の「振り返り」を通し、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート
後期	基礎CAD実習（B）	・前期で学んだ基礎CAD実習(A)の内容を基に、3 次元CADを学習し、3Dモデルを作成する。	a:各作業に使用する機能を正しく理解しモデリングすることができる。 b:作業内容の効率化を図るとともに正確に基礎作業ができる。また、精度の高い課題作品ができる。 c:毎回の「振り返り」を通し、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート
	電気工事実習（B）	・電気工事における配線図の作成を学習し、それに関する実習を実施する。	a: 各作業に使用する工具を正しく安全に使い、電気的な作業の基礎が理解できる。 b:作業内容の効率化を図るとともに正確に基礎作業ができる。また、精度の高い課題作品ができる。 c:毎回の「振り返り」を通し、次の授業で改善しようとしている。	学習の観察 レポート	学習の観察 課題作品	学習の観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度